

『豆太郎物語』



函架番号 H-62。縦 20cm×横 13.3cm。袋綴。楮紙。左肩題簽・外題「豆太郎物語 完」。曙色無地紙表紙。表紙右に朱筆直書で「珍本」。一丁表右に、上から「ノートルダム清心女子大学図書之印」「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」「黒川真頼」の朱陽印。挿絵十二面。

巻末に「享保九年甲辰 八月二十三日」とあり。



小童子譚の一種だが、類書が香川大学神原文庫蔵本のみの稀書。板本の写しのような体裁を取る。神原文庫本も板本の写しのような体裁だが、神原文庫本と比較すると、絵は同じであるにも関わらず、本文が、書写の問題では片付けられないほどの差異を見せる。今後の研究が期待される本である。

(文学部日本語日本文学科 准教授 新美哲彦)